

市民カメラマンフォトロボ

今号は、市民カメラマンの大澤里美さんの写真を紹介します。市ウェブサイトでは、たくさん
の写真を公開しています。ぜひ、ご覧ください。



7/25 自然の家でひらく 科学のトビラ 化石ハンター

24組の定員に80組の応募があった人気の講座です。県博物館の職員から化石について学び、三葉虫とアンモナイトのレプリカ作りと、化石の取り出し体験をしました。レプリカは、職員の指示通りに型に水と石膏を入れて作りしました。化石の取り出しでは、石膏の中から、釘と金づちを使って周りから順番に削り、虹色のアンモナイトを取り出しました。子どもたちは化石のことをよく知っていて、とても楽しそうでした。

8/7 ジュニア司書養成講座を開催

読書好きの小学5年～中学2年の12人が、読書の楽しさを伝える「ジュニア司書」を目指し、8月5日～7日に、カウンター業務など、図書館の仕事について学びました。

この日は、画用紙や折り紙などで好きな本のポップを作成しました。稲羽中学校2年の岸和田祐吾さんは「普段できない体験ができて楽しかったです」と、満足そうに話しました。



8/19 寺子屋事業「マスコミコース」を開催

ケーブルテレビ局 CCNet 岐阜局で、かかみがはら寺子屋事業「マスコミコース」を開催。市内の小学5・6年生28人が参加し、アナウンス体験や編集体験などを行いました。

午後の部に参加した、川島小学校6年の森麻陽さんは「アナウンス体験で、原稿を間違えないか緊張しましたが、楽しんで挑戦しました」と、目を輝かせました。

8/22 空宙博で来館者200万人達成記念式典を開催

平成30年3月にリニューアルオープンした、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館。リニューアル以後の来館者が200万人に到達し、同館で記念式典が行われました。

200万人目となった、鵜沼南町の山口洋輝さんは「初めて来たので、娘も飛行機の大さに驚いていました。良い思い出になりました」と、笑顔を見せました。



各務原



各務原で働く「しごとびと」を紹介します。移住定住ウェブサイト（OFK）では、より詳しい内容がご覧になれます。



Q どんな仕事をしているの？

お客様の髪の毛のカットやカラーなどをしています。これを通して、毎日が楽しくなるお手伝いをしています。

Q 大切にしていることは？

お客様の気持ちです。希望を聞くのはもちろん、その方の髪質やライフスタイルも考えながら、その方に合わせた提案を心がけています。「頼んでよかった」と思っただけのように、お客様の声に耳を傾けています。

Q 仕事のやりがいは？

お客様に喜んでもらえた瞬間です。施術後に鏡を見て「かわいい」と言っていただいたときなどに、とてもやりがいを感じます。



美容師

De Light

井藤 友絵 さん



「第17回林和男旗杯野球大会」で全国ベスト8

森末 凌大 さん

桜丘中学校の3年生。目標としている選手は、以前読売ジャイアンツに所属していた二岡智宏・選手です。

厳しい場面でも、常に前を向いて

7月に佐賀県で開催された、「第17回林和男旗杯野球大会」。森末凌大さんは、中学硬式野球のクラブチーム「各務原リトルシニア」のキャプテンとして同大会に出場し、全国の強豪が集まる中、ベスト8という成績を残しました。

森末さんはこの結果を振り返り、「厳しい場面が何度かありましたが、常に前を向けるように仲間に声をかけ続けました。チーム一丸となって全力を出し切り、悔いのない結果です」と、笑顔で話しました。

森末さんは3歳のときに「京セラドーム大阪で、父が社会人野球の試合に出場する姿を見て、カッコいいと思った」ことがきっかけで野球に興味を持ち、小学1年生のときに野

球を始めました。これまで、自主練習やストレッチを行うなど、休むことなく野球に取り組んできました。チーム練習中も、練習のための練習にならないよう、ノックの時には定位置から動きながら行うなど、常に試合本番を意識しています。

森末さんは、日々の練習を続けながら、志望校に入学するため、勉強にも力を入れています。「進学後は、1年生から試合に出ることができるよう、そして甲子園に出場することができるようがんばります。そのためにも、毎食、肉などタンパク質を多くとり、体作りをしています」と、意気込みます。目標に向かって、食事に気を遣うことはもちろん、練習にも励み、次の舞台に備えます。

